

Villa





取扱説明書

マシンを使用する前に、付属の取扱説明書をお読みください。
また安全上のご注意を必ずお読みください。



- ここに示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や周囲の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 本製品のご使用前に、取扱説明書や箱の中の印刷物を必ずお読みください。
- 取扱説明書は、必要なときにいつでも見られるよう、分かりやすい場所に保管しておいてください。
- ご不明な点は、弊社のサエコサービスセンター（TEL：050-5525-7025）へご連絡ください。

各注意事項は、誤った使い方で生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

 警告	誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると、「人が損傷を負う、または物的損害の発生が想定される」内容を示しています。

各絵表示は以下を示しています。

	△記号は、警告・注意を示します。 △の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。
	⊘記号は、禁止を示します。 ⊘の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、強制を示します。 ●の中や近くに具体的な指示内容が描かれています。

警告



電源は「15A 125A」と記載されている壁面のコンセントから直接お取りください。またタコ足配線はしないでください。火災の恐れがあります。



電源は交流100V 50/60Hzをご使用ください。火災の恐れがあります。



アース線を必ず確実に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。また差し込む時は根元までしっかりと差し込み、抜く時は電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って、抜いてください。感電やショート、発煙、発火、またケガをする恐れがあります。

警告



差し込みプラグに埃が付着している場合は、よく拭き取ってください。
火災の原因となります。



電源プラグ、コードを破損するようなことはしないでください。火気の近くでは使用しないでください。 変異・故障の原因となります。



電源コードに重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したり、また無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたりなど、傷つけないようにしてください。
コードが破損をし、感電や火災の原因となります。



電源コード、プラグ、マシン本体などを水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・漏電の恐れがあります。



電源コードや、差し込みプラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、使用しないでください。 ショート・漏電の恐れがあります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となります。



独自の改造や分解は絶対にしないでください。また製品のカバーを取り外したり、中のパーツに触れないでください。 火災・感電・ケガの原因となります。



お子様だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用しないでください。
ヤケド、ケガの原因となります。



本製品を使用中は、手や電気コードがコーヒー抽出口やスチームノズル、カップウォーマー等、熱を帯びる部分に触れないでください。
ヤケドや破損の原因となります。



パネルコ（スチーム・給湯ノズル）を使用中は、ノズルから非常に高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。
ヤケドや破損の原因となります。



製造元が推奨するもの以外の付属機器のご使用は、決してしないでください。
火災、感電、障害の危険を及ぼす可能性があります。



本製品を本来の使用目的以外には、使用しないでください。
火災、故障の原因となります。



万が一、異常が発生した場合には、直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

注意



不安定な場所には設置をしないでください。
破損やヤケドの原因となります。



水や火気の近くでは使用しないでください。また、壁や家具の近くで使用しないでください。故障・破損の原因となります。また壁や家具を傷め、変色変形の原因となります。



水タンクには、温かいもしくは熱いお湯を入れないでください。
製品が正常に稼働しない恐れがあります。



使用時以外や、クリーニングの前には、コンセントからプラグを外してください。また、パーツの取り付け、取り外し、クリーニングは製品が冷めてから行ってください。ヤケドの原因となります。



洗剤をご利用の場合は、台所用洗剤を使用してください。クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤は避けてください。水に浸した柔らかな布でクリーニングしてください。破損の原因となります。



マシン内部に付着した石灰質(スケール)の除去のために、除石灰剤を用いた除石灰作業を、定期的に行ってください。故障の原因となります。



使用後は、必ずお手入れをしてください。(本文17ページを参照ください)
故障の原因となります。



電源コードをテーブルやカウンターの縁から垂らしたり、製品の熱を帯びる部分に触れないようにしてください。ケガ、破損の原因になります。



屋外では使用しないでください。



高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオーブンなどの近くへ置かないでください。



本製品には衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。

一般事項	6
各部の名称	7
付属品	7
コントロールパネル	8
操作ボタンと表示ランプ	8
コーヒー温度ランプ	8
警告ランプ	9
ご使用前の準備	10
準備	10
空気抜き	10
アクアアプリマ（オプション）	11
調節	12
豆量設定・挽き粗さ	12
コーヒー抽出量	12
コーヒー抽出口	12
コーヒー抽出	13
コーヒー2杯抽出	13
スチームの使用	14
カプチーノを作る	14
スチームの解除	15
給湯	16
クリーニング	17
各部の洗浄	17
ブルーイングユニット（抽出器）のクリーニング	18
排水口のクリーニング	19
除石灰	19
トラブルシューティング	20
安全規則	22
保証とアフターサービスについて	24
修理依頼書	25
技術データ	26

一般事項

本製品は家庭向けエスプレッソマシンです。コーヒー豆を使ってエスプレッソやコーヒーを抽出するのに適しており、スチームやお湯を供給する装置も備えています。

以下に記載した原因による、損傷は責任を負いかねます。

- ・本来の目的に反する間違った使用による場合
- ・修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合
- ・電源コードを改ざんされた場合
- ・マシンのどこかを改ざんされた場合
- ・オリジナルではないスペアパーツや付属部品を使用された場合
- ・除石灰作業を行わなかった場合やマシンを摂氏0度以下の環境で使用、もしくは保管された場合

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承ください。



使用者の安全の為に、警告および注意表示は全ての重要な注意点を示しています。大きな傷害事故を避けるため、これらの注意書きをしっかりと守って下さい。

取扱説明書の利用方法

本取扱説明書は安全な場所に保管してください。そして本エスプレッソマシンを使用される全ての方が利用できるようにしてください。さらに詳しい情報については弊社サエコサービスセンター（TEL：050-5525-7025）にお問い合わせください。

後日の参照のために、本取扱説明書はきちんと保管してください。

製造番号について

本体の左側面に製造番号（シリアル番号）のシールを貼付しています。

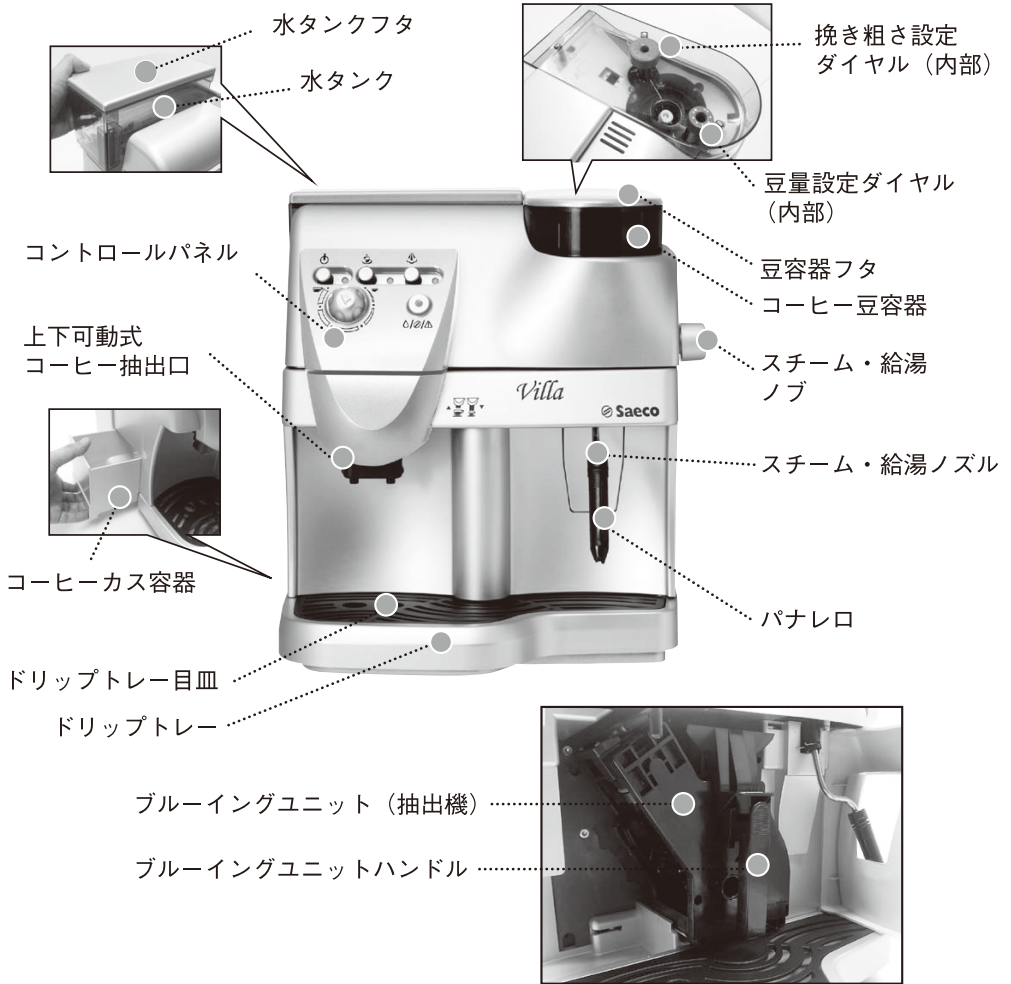


シールは絶対に剥がさないでください。これらの表示内容は全て、サービスセンターにメンテナンスをご依頼される際に必要となる重要な情報です。

TYPE : SUP 018M
SERIAL N°. 9009SR40077125
MACHINE CODE 10003221



各部の名称

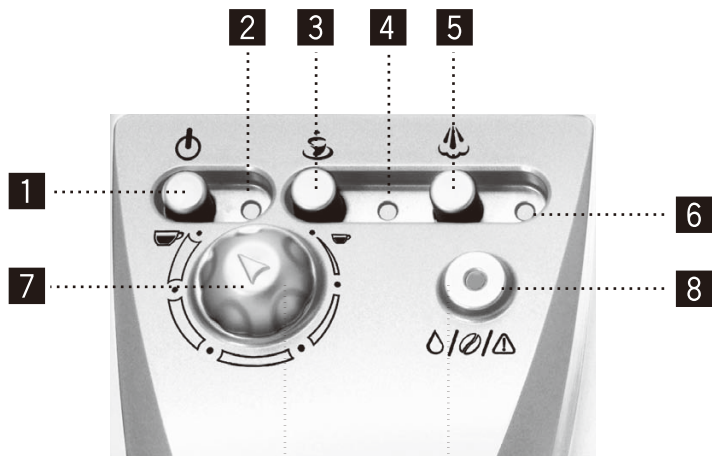


付属品



クリーニング用ブラシ

操作ボタンと表示ランプ



1 メインスイッチ
主電源

2 メインスイッチランプ
電源ONで点灯

3 コーヒー抽出ボタン
1回で1杯、2回で2杯

4 コーヒー温度ランプ
適温で点灯

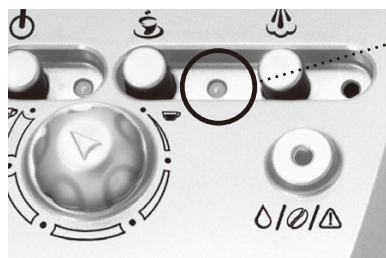
5 スチームボタン

6 スチームランプ
適温で点灯

7 コーヒー抽出量設定ダイヤル

8 警告ランプ

コーヒー温度ランプ



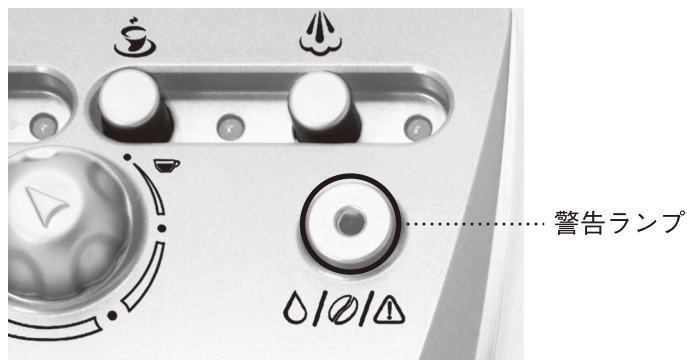
適温ランプ

- ・点滅 ボイラーの温度が適温になっていません。
- ・点灯 ボイラーの温度が適温です。コーヒー、お湯の使用が可能です。

・ スチームランプとコーヒー温度ランプが同時に点滅

ボイラーの温度が上がりすぎています。点滅が解除されるまでスチーム・給湯ノブを手前に回し、お湯を出し続けてください。

警告ランプ



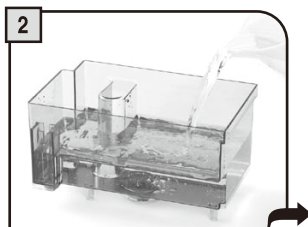
- 点灯** 下記のいずれかの状態を示します。
- ・豆容器にコーヒー豆がない。
 - ・コーヒー豆粉碎中の途中で豆がなくなった。
 コーヒー豆粉碎中の約20秒の間に、コーヒー豆がなくなると、警告ランプが点灯します。豆を補充し再度、コーヒー抽出ボタンを押してください。警告ランプが消えコーヒー抽出を再開します。
 *豆はなくなる前に補充してください。
 - ・水タンクの水が無い。
 - ・コーヒーの抽出途中で水がなくなった。
 水を補充して下さい。警告ランプの点灯が解除されるまでスチーム・給湯ノブを手前に回し、ノズルよりお湯を出し続けてください。
- 点滅** 下記のいずれかの状態を示します。
- ・ブルーイングユニットがキッチンと奥まで装着されていないとき
 ブルーイングユニットを取り外し、再度セットしてください。
 - ・ドリフトレイがキッチンと奥まで入っていないとき。
 - ・カス容器が奥までキッチンと装着されていないとき。
 カス容器とドリフトレイを取り外し、ドリフトレイを再度、奥まで挿入し下へ押し込んでください。そして、カス容器を横から奥まで挿入してください。

準備

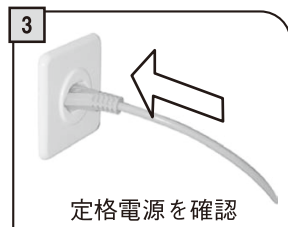
⚠ 注意 電源を入れた際、警告ランプが点滅した場合は、マシンの状態が不完全です。一度電源を切り、9ページ「警告ランプの説明」の各項を確認し、もう一度電源を入れ直してください。



1 容器にコーヒー豆を入れます。



2 水タンクに新鮮な水を入れます。

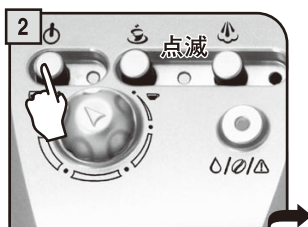


3 定格電源を確認
電源プラグを差し込みます。

空気抜き



1 スチームノズルの下に容器を置きます。



2 メインスイッチを入れます。
メインスイッチランプが点灯し、
コーヒーランプが点滅します。



3 スチーム・給湯ノブを開き、ノズルからお湯が安定して抽出されるまで流し続けます。

次のような場合にも空気抜きが必要です。

- ・ マシンを数日間使用しなかった場合
- ・ 水タンクがカラになった場合
- ・ その他エラーランプが点灯した場合

アクアプリマ (オプション)

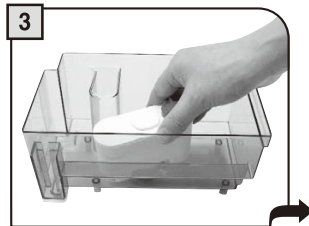
良質の水のご利用と同時にマシンの内部への石灰質（スケール）の付着を軽減するため、アクアプリマの装着をお勧めします。アクアプリマは使用前に水タンク内に30分間浸してください。



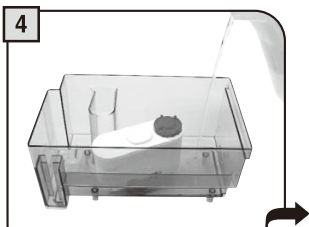
1 パッケージからアクアプリマを取り出し、使用開始月を合わせてください。水タンク内の白いフィルターを外します。



2 フィルターの位置と基準マークを確認します。



3 空のタンク内に挿入して、基準マークを溝にあわせてください。装着位置に収まるまで確実に押し入れてください。



4 飲料水で水タンクを満し、アクアプリマを30分間水に浸してください。その後、タンク内の水を廃棄して、新たに水を入れ、マシンにセットしてください。



5 スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。給湯機能を使って水タンクの水をノズルから排出してください。注)ノズルには触れないでください。



6 再度水タンクに新鮮な飲料水を注いでください。これでマシンの使用準備が完了しました。

豆量設定・豆挽き粗さ



注意

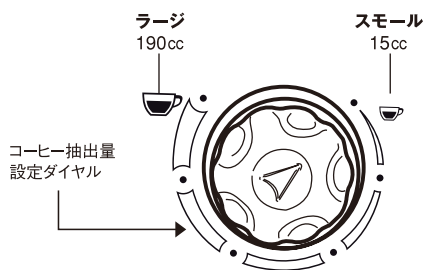
※豆挽き粗さ設定は必ずグラインダーの作動中に行ってください。
 ※出荷時には、標準の8に設定してありますが、実際の挽き粗さはコーヒー豆の種類、焙煎度、またマシンの個体差により変わります。
 ご自身で好みの挽き粗さに設定してください。

豆量設定	コーヒーの味を濃くしたければ「+」の方へ		コーヒーの味を強くしたければより細かい挽きに	豆挽き粗さ
	コーヒーの味を薄くしたければ「-」の方へ		コーヒーの味を弱くしたければより粗挽きに	
		+ -		
		細か挽き 粗挽き		

コーヒー抽出量

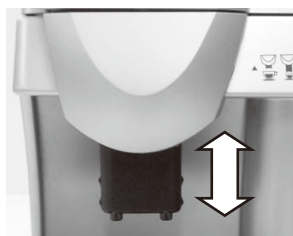
マシン正面のコーヒー抽出量設定ダイヤルを目盛に合わせることで、カップサイズに合ったコーヒーの量が抽出できます。

(豆の種類、挽き粗さ、ローストの具合等により±10%以上の誤差が出ることがあります)



コーヒー抽出口

コーヒー抽出口は異なったカップへ合わせて、高さ調節が可能です。
 ご希望の高さまで、手動で上げ下げしてください。



コーヒー抽出

コーヒーの抽出はコーヒー抽出ボタンを押せばいつでも停止できます。
 コーヒーを二杯抽出する時は、コーヒーの抽出動作を二度繰り返します。一杯目が抽出し終わった後、豆挽きのために抽出を一時中断しますが、しばらくお待ちいただくと再度抽出が始まります。



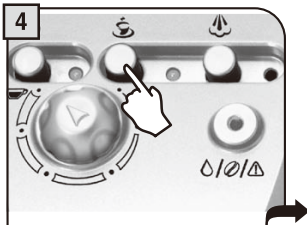
1 マシンの準備が出来ているか確認してください。



2 コーヒー抽出口の下にあらかじめ温めておいたカップを置いてください。



3 コーヒー抽出量設定ダイヤルを回して、抽出量を設定してください。



4 コーヒーボタンを押してください。(抽出中はコーヒーランプが1度ずつ点滅します。)



5 抽出が終わったら、カップを取り出します。

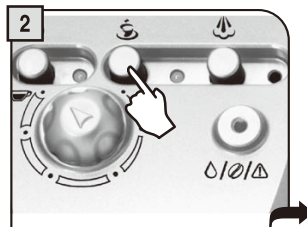


6 コーヒーカスは10杯分を目安に、いっぱいになる前に捨ててください。

コーヒー2杯抽出



1 コーヒー抽出口の下にあらかじめ温めておいたカップを2個置いてください。



2 コーヒーボタンを2度続けて押してください。連続抽出されます。(抽出中はコーヒーランプが2度ずつ点滅します)



3 抽出が終わったら、カップを取り出します。

カプチーノを作る

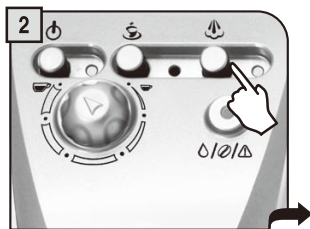


注意

スチーム利用の際は、はじめに少しお湯が噴出します。その後にスチームが出てきますので、スチームが安定してからミルクを泡立ててください。
スチーム・給湯ノズルは高温のため素手では触れないでください。



1 カップに冷たいミルクを1/3程度に入れます。



2 スチームボタンを押します。スチームランプが点灯したら、スチームの準備完了です。



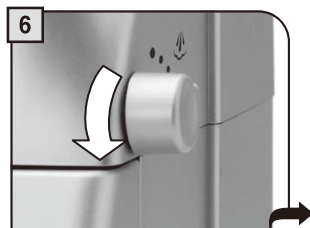
3 容器を抽出の下に置きます。ノブを開いてスチーム・給湯ノズル内の水滴を出し切ります。



4 スチームだけが噴出されるようになったらノブを閉め、容器を外します。



5 冷たいミルクが入ったカップを手で持ち、スチーム・給湯ノズルの先端をミルクに浅く差し込みます。



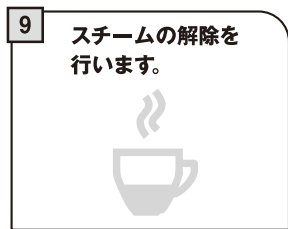
6 ノブを開いてスチームを噴出させます。



7 カップをゆっくりと回したり上下させたりして均一にミルクを泡立てます。



8 ミルクを泡立てたらノブを閉めます。



9 スチームの解除を行います。

ミルクを泡立てたカップにコーヒーを抽出し、カプチーノの完成です。

スチームの解除

スチームランプが点灯している状態では、コーヒーやお湯の抽出はできません。必ずスチームの解除を行ってください。スチームボタンを押すだけでも解除はできますが、相当な時間がかかります。



スチーム・給湯ノズルをふきんで拭き、ノブを開いて一瞬スチームを出して、ノズル内部のミルク成分を吹き飛ばしてください。

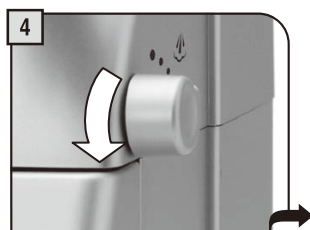
ミルクの泡立てを行った時は、必ず左記の作業を3回繰り返してください。ミルクの成分が内部で固まりノズルが詰まります。



スチームボタンを押してください。コーヒーランプとスチームランプが点滅します。



スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。



ノブを開いて、お湯を出してください。



コーヒーランプが点灯に変わったらノブを閉めて、容器を取り出してください。



コーヒーやお湯の抽出ができます。

給湯

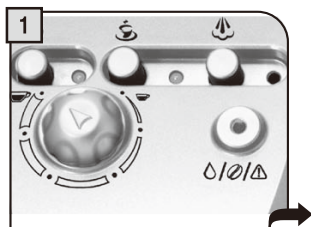


注意

給湯をご利用いただく際は、はじめに少しお湯が噴出します。その後に熱湯が出てきます。手や顔を近づけないでください。

給湯・スチームノズルは高温のため素手では触れないでください。

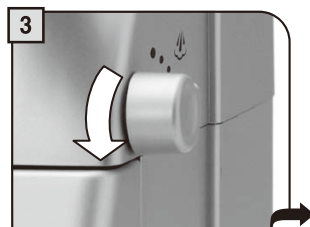
ヤケドの恐れがあります。



1 マシンの準備が出来ているか確認してください。



2 スチーム・給湯ノズルの下に容器を置いてください。



3 ノブを手前に回すとお湯が出始めます。



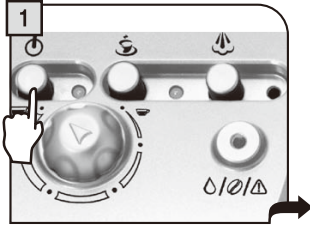
4 お好みの量になったら、ノブを閉めてください。



5 容器を取り出します。

各部の洗浄

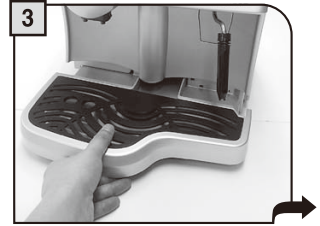
- 注意**
- ※マシンのクリーニングは、電源コードを抜いてから行ってください。
 - ※研磨材の入った洗剤は、使用しないでください。
 - ※食器洗浄機は使用しないでください。
 - ※マシンの部品はオーブンや電子レンジなどで乾かさないでください。



1 スイッチを切って電源コードを抜いてください。



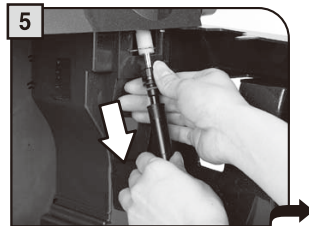
2 カス容器を外して、カスを捨て、水洗いしてください。



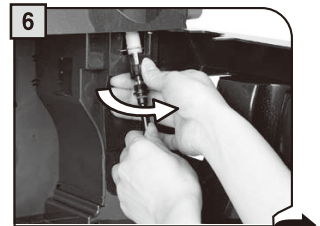
3 ドリフトレイをはずして排水を捨て洗ってください。



4 水タンクを外して水洗いしてください。

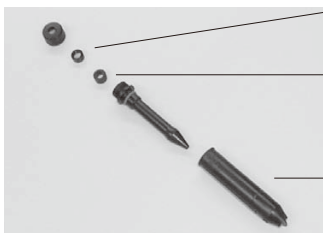


5 パナレロの外筒を引き抜いてください。



6 パナレロの上部ネジをゆるめて、本体から外し水洗いしてください。

注意



- プラスチック製リング
- ゴム製リング
- 外筒

パナレロは5つの部品で構成されています。
 ☆プラスチック製のリングが上、ゴム製のリングが下になるように取り付けてください。

注意

各孔を掘げたり傷つけたりすると良い泡立ちができなくなります。クリーニングは丁寧に行ってください。

警告

クリーニング後に取付けが不完全な場合、お湯やスチーム使用中に勢い良く抜けてしまう場合があります。危険です。

ブルーイングユニット（抽出器）のクリーニング



注意

本体内側に塗られているグリースは、ブルーイングの動作に必要なものです。洗い流さないように注意してください。コーヒークスが付着したままでもかまいません。

一日の終わりに必ずブルーイングユニットをクリーニングしてください。



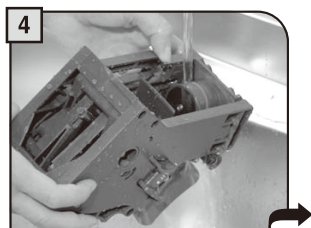
電源を切り、カス容器を外しフロントドアを開けてください。



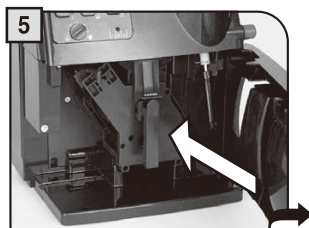
ブルーイングユニットのPRESS（プレス）を押し、手前に引いて外してください。



流水で付着したコーヒークスを洗い流してください。



フィルター部は付属のブラシを使ってコーヒークスをよく落としてください。

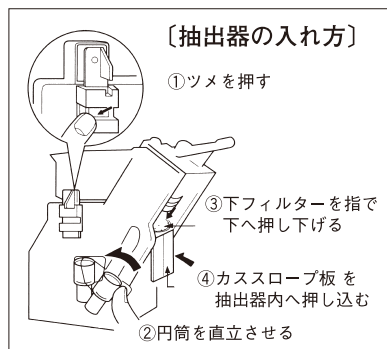


PRESS（プレス）ボタンを押しロックをかけ、マシン本体へ挿しカチッと音がするまで押し込んでください。



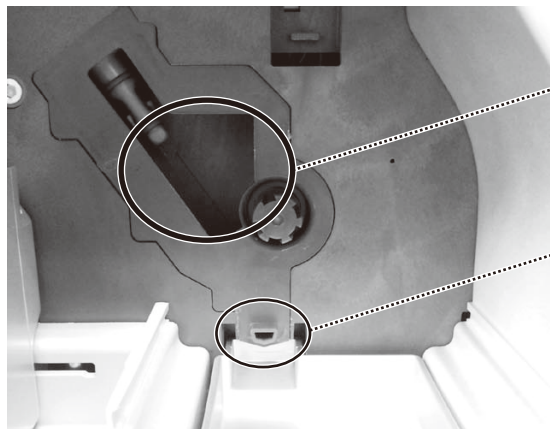
クリーニング中にブルーイングユニットのセットがズレた場合は、以下の方法で位置を戻し、ロックしてください。

- ① ハンドルの反対側にあるツメを押す。
- ② 円筒を指で押し直立させる。
- ③ 下フィルターを指で押し下げる。
- ④ カススローブ板をブルーイング内部へ押し込む。
- ⑤ ハンドルを持ち親指でPRESS（プレス）をカチッと音が鳴るまで押す。



排水口のクリーニング

カス容器にコーヒークスがいっぱいになった状態でコーヒーを抽出したり、コーヒークスの抽出杯数が増えるとバルブ接合部のドレイン口にコーヒークスが溜まり、排水口が詰まります。マシン内部やドリフトレイ以外に排水が漏れ、水漏れを起こし故障の原因となります。定期的にコーヒークスを除去してください。



ドレイン口

この中にコーヒークスが溜まり、排水口が詰まる。詰まっている場合は、コーヒークスを除去してください。

排水口

コーヒー抽出後の残圧により排出されるお湯をドリフトレイへ流す排水口。コーヒー1杯当たり約30cc排水が流れ出ます。

除石炭（スケール除去）

除石灰とは

マシンを永く使用していると、水に含まれる石灰質がマシン内部の水の回路（ボイラー、バルブ、チューブ出口など）に附着してきます。その結果、水の通りが悪くなってマシンの故障を招く恐れがあるため、定期的に除石灰作業を行う必要があります。

*除石灰作業にはサエコ純正の『デカルリキッド』を推奨します。

除石灰作業

- ①水タンクにデカルリキッド（除石灰剤）を1本入れ、水道水を満タンまで注ぎます。
- ②よくかき混ぜて、マシンの電源を入れます。
- ③スチーム・給湯ノズルの下に、大きめの容器（500cc程度）を置きます。
- ④約20秒間お湯を出します。
- ⑤20秒後お湯出しを停止し、マシンの電源を切り5分間放置します。
容器の水を捨て、再度スチーム・給湯ノズルの下に置いてください。
- ⑥④⑤の手順を水タンクの除石灰水溶液がカラになるまで繰り返します。
- ⑦水タンクをはずし良く洗ってから、飲料水を満タンにします。
- ⑧すすぎを行います。③の容器をスチーム・給湯ノズルの下に置き、お湯出しを行い水タンクの水をカラにします。
(途中容器がいっぱいになった場合はお湯出しを止め、中身を捨ててください。)

症状	原因	対応策
マシンの電源が入らない	マシンのコンセントは繋がっていますか？	コンセントを確認して、電源をONにしてください。
コーヒーがぬるい	カップが冷えていませんか？	カップを事前に熱湯などで温めてください。
給湯もしくはスチームが抽出できない	スチーム・給湯ノズルが詰まっていますか？	細い針やピンのようなもので掃除をしてください。 注意！ ：この作業をする時は必ず、マシンの電源をOFFにし、ノブを閉じてから行なってください。最後にカスを取り除くためにスチームノズルにお湯を通してください。
コーヒーの量が減った/ お湯やスチームが外に漏れる/ マシンの準備に時間がかかる	マシン内部にスケール（石灰質）が溜まっている可能性があります。	除石灰作業を行なってください。もし、長期間行っていない場合、連続して2回行なうことをお勧めします。
ブルーイングユニットの取り外しができない	マシンが本来のスタンバイ状態ではありません。	カス容器やドリフトレイを入れ直し、フロントドアを閉めてマシンの電源を入れ直してください。ブルーイングユニットがリセットされて通常に戻ります。
マシンが動かない	コーヒー豆は入っていますか？	コーヒー豆を補充して、コーヒーボタンを押してください。
	水は入っていますか？	水タンクに水を補充してください。
	カス容器がいっぱいではありませんか？	カス容器のカスを捨ててください。カス容器は必ず5秒以上の間隔をおいてから入れ直してください。
	ブルーイングユニットは正しく装着できていますか？	ドリフトレイとカス容器とブルーイングユニットを外してください。ブルーイングユニットがカチッと音がするまで入れ直し、カス容器を元に戻してフロントドアを閉めてください。
コーヒーの抽出が早い	豆の挽き粗さが粗すぎませんか？	豆の挽き粗さを細かくしてください。例) 目盛10→8へ 調節は必ずグライNDER作動中に行ない、1回の調節は2目盛までに行ってください。2～3杯の抽出後、味を確認してください。
	1杯分のコーヒー豆量が少なすぎませんか？	ツマミを「+」の方向へ回してください。

症状	原因	対応策
コーヒーの抽出が遅い	豆の挽き粗さが細かすぎませんか？	豆の挽き粗さを粗くしてください。例) 目盛8→10へ 調節は必ずグラインダー作動中に行ない、1回の調節は2目盛までにしてください。3～4杯の抽出後、味を確認してください。
	1杯分のコーヒー豆量が多すぎませんか？	ツマミを「-」の方向へ回してください。
	ブルーイングのフィルターの目が詰まっていますか？	ブルーイングユニットをクリーニングしてください。

上の表にない問題や提示されている方法では解決できない場合は、サエコサービスセンター（TEL：050-5525-7025）へお問い合わせください。

緊急時の対応

すぐにコンセントからプラグを抜いてください。

以下のような条件で使用してください。

- ・室内にて使用すること。
- ・コーヒーの抽出、給湯、スチームを使ったミルク泡立てや温かい飲み物用。
- ・心身に異常のない、正常な判断のできる成人によるご使用。

以下のような使用は決してしないでください。

危険防止のため上記の事柄以外の使用はおやめください。
取扱説明書に記載されている水やコーヒー豆以外のものを使用しないでください。
混入を防ぐため、水やコーヒー豆を補充する際は他の容器の蓋は全て閉じておいてください。
水タンクには新鮮な飲料水のみご使用ください。お湯やその他の液体の使用はマシンを損傷させる恐れがあります。
炭酸水は使わないでください。
コーヒングライNDERへコーヒー豆以外の物を入れたり、指を差し入れたりしないでください。

電源の接続

本エスプレッソマシンに見合った適切な電源コンセントに接続してください。電圧はマシンラベルの表示にあってなければなりません。

設置

- ・水平面を選んでください。加熱面には置かないようにしてください。
- ・マシン壁と料理用ホットプレートなどとの間は、10cm以上離してください。
- ・マシンを摂氏0度以下で保管しないでください。凍結損傷の恐れがあります。
- ・万が一のために、常にコンセントに近づくことができる場所に設置してください。
- ・電源コードは損傷がないこと、クランプで固定しないこと、熱せられた場所の上に置かない等、ご注意ください。
- ・電源コードを吊り下げないでください。（引っかかったり、マシンを落下させたりする危険性があります）
- ・電源コードを引っ張ってマシンを運んだり移動させたりしないでください。

危険

- ・お子様や操作方法の説明を受けていない方のマシン使用はおやめください。
- ・お子様のマシン使用は危険です。お子様だけにする場合はマシンが作動しないように電源をOFFにしてください。
- ・お子様の手の届くところにエスプレッソマシンを置いたままにしないでください。
- ・お湯やスチームが出ている先をご自分や他の方へ向けしないでください。火傷する危険性があります。
- ・マシンの開口部から物を差し込まないでください。（危険！電流！）
- ・濡れた手足でプラグに触れないでください。電源コードを引っ張ってプラグを抜いたりしないでください。
- ・お湯、スチーム及びスチーム・給湯ノズルによる火傷にご注意ください。

故障

- ・落下させたりした後、故障を確信又は予感できる場合、使用しないでください。
- ・故障修理は全て弊社技術・流通センターか指定のサービスセンターにご依頼ください。
- ・欠陥のある電源コードの付いたマシンを使用しないでください。損傷した場合は製造元あるいは指定サービスセンターに取替えを依頼してください。（警告！ 電流！）
- ・サイドドアを開ける前にはマシンの電源をOFFにしてください。

クリーニング

- ・クリーニング前にプラグを抜いて、マシンを冷ましてください。
- ・マシンを水に浸けたり、水しぶきが掛からないようご注意ください。
- ・マシンの部品をオープンや電子レンジなどで乾かさないでください。


スペアパーツ

安全上の理由により、正規のパーツ及びアクセサリ以外は使用しないでください。

廃棄

- ・包装資材はリサイクルできます。
- ・マシン：プラグを抜いて、電源コードを切ってください。
- ・マシンと電源コードは公共の廃棄物処理場へ引き渡してください。



マシンや包装箱についているシンボル  はこの製品が家庭用廃棄物として処理できないかもしれないことを示しています。代わりに電気、電子器具のリサイクルのための適切なごみ集積場へ引き渡すことになります。

この製品を正しく廃棄することは、不適切な廃棄処理によってもたらされる環境と人の健康に対する悪影響を防止します。

この製品に対するさらに詳しいリサイクル情報については、地域の市役所、ごみ処理業者、あるいは製品を購入したお店にお問い合わせください。

保証書

- このサエコ エスプレッソマシンには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- このサエコ エスプレッソマシンの保証期間はお買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品を指します。
- 本エスプレッソマシンの補修用性能部品保有期間は、製造打ち切り後、5年です。
- 保有期間経過後も部品を保有している場合がございますので、お問い合わせください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- ご不明な点や、修理に関するご相談は下記へご連絡ください。
- 20ページの記載に従って、製品を調べていただき、なお異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから、下記へご連絡ください。

サエコサービスセンター

TEL : 050-5525-7025

平日：AM 9：00～PM 18：00

土・日・祝日：AM 10：00～PM 17：00

修理のご依頼は

- 故障と間違えやすい状況が発生することがございますので、20ページの記載を事前にご確認ください。また、ご依頼の前にサエコサービスセンターへご相談されることをお勧めいたします。
- 修理を依頼される際は次頁に必要事項をご記入の上、お手数ですが製品を梱包していただき、下記までご送付ください。(宅配便利用：お送りいただく際の送料は、お客様のご負担となることをご了承ください)

サエコサービスセンター

〒665-0823 兵庫県宝塚市安倉南1-9-41

電話：050-5525-7025

技術データ

電圧	100V 50/60Hz
消費電力	1,050W
本体材料	ABS—熱可塑性プラスチック
サイズ（幅×奥行×高さ）	337 × 325 × 377 mm
重量	8.5 Kg
電源コードの長さ	1200 mm
コントロールパネル	正面
水タンク容量	1.7 ℓ / 取り外し可能
ポンプ圧力	15気圧（抽出時は 9 気圧）
ボイラー	ステンレス
コーヒー豆容器容量	300 g / コーヒー豆
一杯あたりのコーヒー豆量	約 7 - 10.5 g
コーヒーカス受け容量	10杯
安全装置	ボイラ圧力安全弁 - 2 重安全サーモスタット

改良のため、仕様および性能の一部を予告なく変更することがあります。
あらかじめ、ご了承ください。

このマシンは電磁適合性に関して欧州指針89/336/EEC（イタリア政令476日付04/12/92）の基準に適合しています。

日本サエコ株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-15-9 ブルーベルビル2F
TEL.03-5436-7881 FAX.03-5436-7882
infor@saeco.co.jp www.saeco.co.jp

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。